

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年5月31日

1 事業名	保健センター管理事業			コード	3102	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	上原 幸代
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	保健・医療の推進	施策	健康づくりの推進	
		予算科目	保健センター管理費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市保健センター条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	各種健診（検診）、各種予防接種、健康教室、栄養教室等を開催する。		
目的	対象者	市民	
	意図	健康保持、増進を図る。	

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	元年度指定管理料 円
施設における通常業務	各種健診、各種予防接種、健康教室、健康相談、栄養教室等
事業の実施内容	（元年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 保健センターの利用者が安全に利用することができるよう、維持管理、補修を実施した。 清掃業務、勤務時間外の警備保安業務、消防点検業務、自動ドア保守業務については、業務委託により実施した。
前年度の課題への対応	毎日の点検実施により、修繕箇所の早期発見に努めた。

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	244	244	239	243
1日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	2,196	2,196	2,151	2,187
年間利用実績（時間）	2,196	2,196	2,151	
② 年間利用者数（人）	22,773	22,278	21,479	0
有料利用者数				
無料利用者数	22,773	22,278	21,479	
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	93.3	91.3	89.9	0.0
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	1,326,333	1,775,785	2,239,008	3,950,000
経常経費	1,326,333	1,775,785	1,632,069	1,893,000
臨時的経費	0	0	606,939	2,057,000
* 臨時的経費の説明	令和元年度は乳幼児健診室の改修、非常用設備等の改修（令和2年度繰越明許）			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
正規職員の人数(人)	0.16	0.16	0.16	0.16
③ 合計コスト(①+②)	2,606,333	3,055,785	3,519,008	5,230,000
前年度比		117.2%	115.2%	148.6%
財源内訳				
一般財源	2,606,333	3,055,785	3,519,008	5,230,000
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	114	137	136	
前年度比		119.8%	98.8%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況（項目6/住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 98.4%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 -	1	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 施設の老朽化に伴う維持管理
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 職員の巡視により、破損・修繕箇所の早期発見に努めるとともに、大掛かりな補修が必要な場合には、実施計画を策定していく。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	2,500,000	円	予定時期 令和2年3月～6月
内容	非常用設備等（非常照明、誘導灯、自動火災報知機）改修工事		

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	3102	保健センター管理事業
-----	------	------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
消耗品費	30,000		30,000	トイレットペーパー、ごみ袋ほか
光熱水費	444,000		444,000	電気、水道、ガス
修繕料	150,000		150,000	小破修理
手数料	12,000		12,000	電力供給調整手数料
保険料	10,000		10,000	火災保険料
委託料	1,074,000		1,074,000	清掃、警備、自動扉、消防用設備点検
工事請負費		2,500,000	2,500,000	非常用設備工事（繰越明許）
			0	
			0	
			0	
合計	1,720,000	2,500,000	4,220,000	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.13	0.03	0.16人
合計	1,040,000	240,000	1,280,000円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	2,760,000	2,740,000	5,500,000

施設の運営コスト計算シート

事業名	3102	保健センター管理事業
-----	------	------------

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0